

■ 報 告（６） 第 64 回道小石狩・千歳大会及び第 73 回全連小研究協議会石川大会参加割当等
について

第 64 回道小石狩・千歳大会及び第 73 回全連小研究協議会石川大会参加割当についてご説明いたします

まず、第 64 回道小石狩・千歳大会への参加期待数についてですが、研修部資料の 26 ページの一覧をご覧ください。令和 3 年度の会員数の調査によりますと、各地区の会員数は表のようになっており、合計は今年度よりも 10 名程度減少の見込みであります。

各地区の参加期待数は、それぞれの会員数を基に、開催地区の石狩地区は、100%、開催地区の第 1 ブロックは本来でしたら 70%、その他の地区は 50%の割合として、事務局幹事の有無も勘案して算出しておりますが、今回はコロナ禍の影響が向けきらないこともあり、割り当ての数字を若干減らしております。

といいますのは、分科会の会場に収容できる人数の合計は、現在 453 名となっております。会員数×%ではなく、453 に合わせて、この数字を決めていきました。

各地区の割り当て人数ですが、石狩地区は 100%。これだけないと運営は厳しくなります。

そして 1 ブロックは本来 70%ですが、50~55%に抑えました。その他地区は本来ならば 50%となりますが、今回は 40%前後としております。配慮した点は、各地区全体で 10 名以上の参加があることといたしました。また、発表者がいる分科会は、最低 3 名を配置しました。発表者と趣旨説明者がセットで出ますが、もう一名、まとめの原稿執筆者が必要ですので、最低 3 名といたしました。また、令和 4 年度に発表が当たっているところには、若干ではありますが、多く配置しております斜体数字で示しております。

各分科会の人数は、453÷11 で、1 分科会、41 名程度と計算上はなるのですが、会場の広さによって定員が定まりますので、多く収容できる会場と少ない会場がでてしまいますが、このところをご容赦願いたいと思います。

どの分科会にも、20 地区すべての地区から参加していることが望ましいところですが、この点におきましても、11 の分科会設定に対し参加数 10 名という地区もございます。物理的に配置できないことをご理解ください。

次に、来年度開催されます第 73 回全連小研究協議会石川大会について報告いたします。研修部資料の 29~31 ページに概要を載せております。日時は令和 3 年 10 月 14 日、15 日、全体会場は金沢市石川県立音楽堂、分科会場は、金沢市内の公共施設と市内ホテルで開催されます。

北海道からの発表は、日高地区が、研究領域「2 教育課程」第 5 分科会「豊かな人間性」を担当、そして釧路地区が、研究領域「5 教育課題」第 12 分科会「自立と共生」を担当することとなっております。どうぞよろしく願いいたします。

原稿の作成には道小研修部もかかわって参りますので、よろしく願いいたします。

続いて、全連小石川大会の参加期待数についてです。これもコロナ禍の影響で、北海道は、従来 10%のところ今回は 5%50 名の参加期待数が示されております。各地区 5%の割合で、次年度の会員数見込みを基に割当させていただきましたが、発表地区の日高、釧路に 5%を割り振ると 1.3 人、1.4 人となり四捨五入すると、割り当ては 1 名となってしまいます。つまり発表者だけです。そこを解消するために発表地区は 2 名といたしました。また、参加人数の内数である役員が多いため、12 名としています。

各地区、ご確認いただき、ご準備願います。